

脆弱性診断・管理システム

Tripwire IP360

IT資産の洗い出し(現状把握)から

Web/ネットワークのリスク管理までトータルサポート

https://www.kccs.co.jp/secureowl/solution/external/pcidss_solution/

製品概要

Tripwire IP360は、Web/ネットワークに対する脆弱性と各種リスクの統合管理システムです。負荷が少ない効率的な診断手法により、稼働中のシステムに対するリスク管理を行います。日々変化するネットワークの状況(IT資産の洗い出し)から、セキュリティレベルの継続的な向上を図る“脆弱性・リスク管理セキュリティサイクル”の運用を強力にサポートします。



ネットワーク全体のIT資産洗い出し & 脆弱性・リスクの優先順位付け

洗い出し

ネットワーク接続デバイスの自動検出

IPアドレス/ホスト名

稼動ポート

稼動OS・アプリケーション

台帳化

対策の優先順位付け

脆弱性の危険度を数値化(スコアリング)

Hostname	IP Address	OS	Owner	Asset Value	Score
winxp-vm.lab.kccs	10.10.10.102	Windows XP SP3		50	230787
sinus.lab.kccs	10.10.10.10	Red Hat Enterprise Linux 4.0		50	175945
redhat-r5.lab.kccs	10.10.10.136	Red Hat Enterprise Linux 5.0		50	14674
ubuntu-y110.lab.kccs	10.10.10.152	Ubuntu Linux 11.10		50	9811
centos56.lab.kccs	10.10.10.132	CentOS Linux 5	Admin, Online	50	7350
solaris10.lab.kccs	10.10.10.141	Solaris 10	Admin, Online	50	7153
			Admin, Online	50	3421
			Admin, Sales	1,000	953
			Admin, Online	50	350
			Admin, Online	500	239
			Admin, Online	50	140

脆弱性リスク: 大
優先順位: 高

緊急度が高いのは?
どのような端末が稼動?
各端末のリスク状況は?
かんたんに優先順位を決定

Tripwire IP360の特長

Tripwire IP360は、数IPから数万IPまでさまざまな環境に適した脆弱性・リスク管理システムです。他システムとの連携やカスタマイズの容易さのほか、診断対象のカバー範囲の広さが特長です。

ネットワーク上のさまざまなIT資産の検出・診断

脆弱性・リスクの数値化による、容易な優先順位の判断

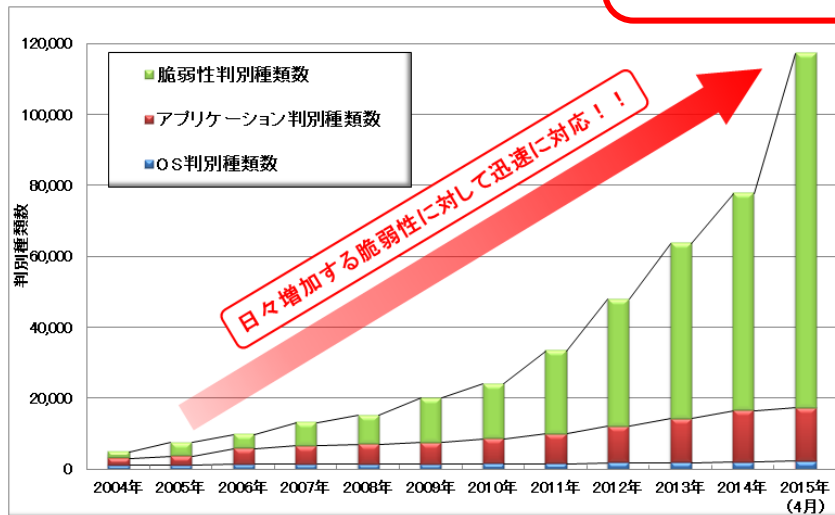
管理コンソールへの綿密なアクセス制御

経営者向け～サーバ管理者向けまで、各種レポートを作成

各種カスタマイズによる、既存システムとの統合

- 特長① 大規模ネットワークに対応した脆弱性・リスク管理システム
- 特長② アプライアンススペースのシステムのため運用・設定が容易
- 特長③ 診断対象に対する負荷が少なく、恒常的な診断実施が可能
- 特長④ 診断のカバー範囲が広い

脆弱性判別 100,000種類以上
アプリケーション判別 15,000種類以上
OS判別 2,400種類以上
(2015年4月現在)



※Tripwire社調べ

Tripwire IP360 ラインナップ

エンタープライズ向け
脆弱性診断・管理システム



多彩なラインナップ
物理／仮想アプライアンス

豊富な診断／管理機能
診断結果検索・チケット



VnE Manager
管理コンソール／
スキャナ



Device Profiler
診断スキャナ

- ・Focus(診断結果の全検索機能)
- ・チケットング機能

※仮想スキャナ、オールインワン型(IP360 Software)もご用意しております。

価格

当社営業までお問い合わせください

●記載の製品ならびにサービス名および会社名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。●サービス内容は予告なく変更する場合があります。●KCCSは京セラコミュニケーションシステム株式会社の略称です。



京セラ コミュニケーションシステム株式会社

KCCSカスタマーサポートセンター

フリーコール 0120-911-901

携帯電話・PHS・IP電話など 050-2018-1827

受付時間 平日9:00 ~ 17:00

(17:00以降のお問い合わせは自動応答になります。)

KCCSホームページ <https://www.kccs.co.jp/>

E-mail: kccs-support@kccs.co.jp

2015年8月現在